

ふるさと自慢 四日市を再発見



ひととき四日市を離れ、ふるさとについて誰かに語る機会があったら、皆さんは何を話しますか。

例えば、お茶や地酒のことを紹介したとき、相手が「それ知ってるよ。おいしいよね」と返してくれたり、「あ、そうなんだ。詳しく教えてよ」と興味を持ってくれたりしたら、嬉しい気持ちになりませんか。

本市には、地場産品をはじめ、市外・県外の人に誇ることができる素晴らしい地域資源が数多くあります。中には、自分の住むまちのものでも、意外と知らないものもあるものです。

今回の特集では、そんな「ふるさと自慢」や「ふるさと再発見」につながる、さまざまな地域資源について紹介していきます。

ちゃんねる
運動



今回の特集の内容は、市政情報等提供番組「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します

- 地デジ12ch(CTY)
- 8月21日(日)~31日(水)に放送
月・水・金・日曜日 9:30、20:30
火・木・土曜日 12:30、20:30

活気と賑わい

四日市の定期市

古くは室町時代、毎月4の付く日に「市」が開かれたことが、四日市という名前の由来と言われています。江戸時代に入ると、東海道五十三次の43番目の宿場町として栄え、人・物が行き交う商業のまちとして発展してきました。

現在でも、市内各所で11の特色ある定期市が開かれ、昔の活気を今に伝えています。新鮮な野菜や魚をはじめ、さまざまなものがお値打ちに手に入る定期市は、本市のにぎわい・活気の原点とも言えます。



室町時代の「四日の市」の様子
(市立博物館「時空街道」の展示)

三滝川慈善橋市場

大正11年に開設され、市内で最も歴史があり、規模が大きい定期市です。今年、新たな建物の完成とともに、リニューアルオープンしました。新鮮な野菜や果物から、鮮魚、衣類、雑貨、生花、菓子まで、品ぞろえ豊富で、見て歩くだけでも新たな発見につながるかもしれません。



富洲原四・九の市

昭和29年から続く青空市です。地元産の青果のほか、手作りの食材も並び、おいしいものが手に入ると評判です。天気がいいと、ますます買い物が楽しくなります。



塩浜市場

昭和31年に開設され、地元で愛され続けてきた、昔懐かしい雰囲気がある定期市です。青果、鮮魚、精肉の3つがそろい、手作り総菜や地元食品も多数あります。



いいもの盛りだくさん!

伝統美と機能美～四日市萬古焼～

食器や酒器、花器、置物など、バラエティー豊かな四日市萬古焼。その起源は江戸時代中期にまでさかのぼるとされ、国の伝統的工芸品に指定されています。

耐久性と耐熱性に優れた土鍋は四日市萬古焼を代表する商品で、土鍋の生産量では、日本一のシェアを占めています。

また、鉄分を多く含む粘土を用いて作り上げる紫泥急須は、独特の美しい光沢が魅力です。



サミットの「乾杯」を飾った杯

5月に開催された伊勢志摩サミットでは、首脳陣の夕食会の乾杯に、四日市萬古焼の杯が使用されました。

金・銀の酒杯(ペア)には、桜や梅の美しい盛り絵が施されています。



成形:清水酔月さん、盛り絵:清水きし代さん



出典:G7伊勢志摩サミット公式ホームページ
(<http://www.g7ise-shimasummit.go.jp/>)

「じばさん三重」で、サミット関連の地場産品を展示・販売中!

北勢地域の地場産品を販売する「じばさん三重」では、上で紹介した四日市萬古焼の杯の展示や、伊勢志摩サミットで提供された地酒などの販売を行っています。

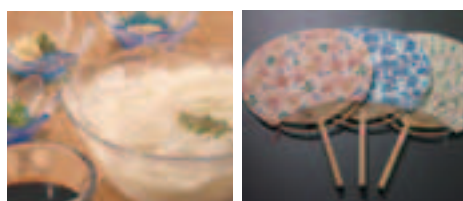


じばさん三重
西浦尚夫さん

地元のいいものをまとめて探すなら じばさん三重名品館へお越しください

多くの地場産品は、「技術」「技法」、「職人のこだわり」によって生み出されています。今回のサミット関連展示・販売をきっかけに、皆さんに地場産品の良さを再確認していただければと思っています。

じばさん三重名品館では、いい品を豊富に取りそろえていますので、この機会にぜひお越しください。



- 場所:安島一丁目3番18号(近鉄四日市駅から西へ徒歩5分)
- 営業時間:午前10時～午後6時 ※夏季(9月まで)は午後7時まで
- 休館日:毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
- 問い合わせ:☎/FAX 353-8101

ふるさと特産品

かぶせ茶 日本一

本市では、水沢、小山田、川島地区を中心に、古くからお茶の栽培が行われてきました。収穫前の2週間ほど、黒いネットで茶樹を覆って収穫されたお茶を「かぶせ茶」といい、本市はかぶせ茶の生産量日本一を誇っています。一定の期間、直射日光を遮ることで、渋みが抑えられてうまみ・甘みが増し、高級茶「玉露」に近いまろやかなお茶になります。



四日市茶農家女子会の皆さんに聴きました



古市久美さん 清水加奈さん

「かぶせ茶」と「萬古焼」って相性抜群なんですよ

四日市萬古焼の「紫泥急須」で入れたかぶせ茶は、とても味わいがあるんですよ。これは、急須に含まれる鉄分がお茶の渋みを抑える効果があるからなんです。

おいしいかぶせ茶を入れる秘訣は、温度と時間。3人分なら10gほどの茶葉と60度ぐらいのお湯を急須に入れ、2分ぐらい待って湯飲みに回し入れてください。熱過ぎると渋みが増すので気を付けてくださいね。



池田夕里さん

新しいかぶせ茶レシピを研究中です

茶農家を営む傍ら、最近、かぶせ茶を使ったパンの製造・販売をしています。

実は、パンの発酵には、茶葉に含まれるカテキンが影響することから、調合のバランスがとても難しいんです。おいしくできたパンを皆さんに食べていただき、お茶に興味を持ってもらうきっかけになれば嬉しいです。



今回作ったのは、かぶせ茶入りの米粉アンパンとほうじ茶ベーグル

こだわり農産物を新たな四日市の一押しに!

交通の便が良く、物流の利点を生かせることから、市内ではお茶のほかにも、一年を通してさまざまな農産物が生産されています。最近は、イチゴ狩りやブルーベリー狩りなど、体験型の観光農園を営む農家も増えており、新たな四日市の魅力となりつつあります。



サクラ ベリーズ ガーデン
Sakura Berry's Garden
オーナー 山原 忠彦さん

顔が見えるブルーベリー農園

「お客さまと生産者、お互いの顔が見える農業を」という思いから、この農園をオープンさせました。お客さまとスタッフがなるべく対話できる環境を大切にしています。その対話を通じ、お客さまに楽しんでいただくとともに、日々のお客さまの声の中からよりおいしい品種の栽培につながるヒントをいただいています。

Sakura Berry's Garden (桜町7818番地) 5,000㎡の敷地に約1,000本のブルーベリーを栽培。品種数(92品種)は東海地区最大級。ブルーベリー狩りは8月上旬ごろまで。予約など詳しくは問い合わせいただくか、ホームページをご参照ください。☎080-6929-7800 [HP] <http://www.sakura-berrys.com>

夜景の聖地へようこそ

産業の発展と環境保全を両立する本市のまちづくりの歩みを象徴する石油化学コンビナート。夜、工場群は幻想的な光を放ち、人々を魅了します。近年、本市は、全国屈指の夜景の名所として知られるようになり、工場夜景の「聖地」とまで称されるようになりました。ここでは、本市の美しい夜景を見られる絶好のスポットを紹介します。

四日市コンビナート 夜景クルーズ

近年、工場夜景がブームとなる中、平成22年に本市の新たな観光資源にとスタートした夜景クルーズは、今年で7年目を迎えます。一昨年には累計乗船客数が1万人を突破し、この秋には2万人に達する見込みで、その人気は衰えることはありません。

船は、千歳棧橋から出港し、第2コンビナート(午起地区)、第3コンビナート(霞ヶ浦地区)、そして第1コンビナート(塩浜地区)を巡ります。また、コンビナート企業の元社員が務めるガイド(語り部)も、このクルーズの大きな特徴です。

クルーズガイド(語り部)の皆さんに聴きました

ガイドでは、四日市の歴史や文化、港の歩み、コンビナートのこと、そして四日市公害の経験を経て環境先進都市を目指す四日市の今をお伝えしています。

クルーズのPRという観光推進はもちろんですが、お客様に四日市のイメージを変えていただけることを第一に考えています。

乗船後、「四日市は公害のまちというけど、違うやんか」という声をいただくことがあります。ガイドをやっていてよかったと思える瞬間ですね。



左から、寺本佐利さん、大西通さん、古川勝敏さん、筒井孝男さん



- 日時** 毎週金・土曜日(要予約) 19:00出航
※7~8月は20:15出航もあり。12~3月は土曜日のみ催行
- 料金** 60分プラン/大人3,900円、子ども3,400円
- その他** 90分プランもあります。詳しくは、専用デスク(☎347-7177)へ
問い合わせいただくか、ホームページ(<http://ykyc.jp>)をご覧ください

四日市港 ポートビルからの夜景

県内一の高さを誇る四日市港ポートビルが、美しい夜景が見られる場所として、昨年「日本夜景遺産」に認定されました。最上階の展望展示室「うみてらす14」からは、360°の大パノラマを望むことができ、とりわけ、南東方向に広がる工場夜景は息を飲む美しさです。

4月1日からは、夜間開館が拡大されるなど、さらに夜景を楽しむやすくなりました。

- 営業時間** 午前10時~午後5時 ※土・日曜日、祝日は午後9時まで。入場は閉館の30分前まで
- 休館日** 水曜日(祝日の場合は開館)、12月29日~1月3日 **入場料** 一般(高校生以上)300円
- 問い合わせ** 四日市港管理組合振興課 ☎366-7022 FAX366-7025
Facebook: <https://www.facebook.com/umiterasu14.yokkaichi/>

高台からの夜景

～あなただけの
夜景スポットが見つかるかも～

市内各地の丘陵地や里山から見下ろす夜景も、
また違った趣があります。

垂坂公園・羽津山緑地は、「夜景百選」に数えられ、県内随一の夜景スポットとして知られています。ほかにも、身近なところに素敵な夜景が見られる場所があるかもしれません。あなただけの秘密の夜景スポットを探してみませんか。

これは
どこから
かな？



四日市の日本一？

今回、定期市や地場産品、夜景など、さまざまな四日市の地域資源を紹介しましたが、実はまだまだ紹介しきれないものも多くあり、中には土鍋やかぶせ茶の生産量以外にも「日本一」と言われるものもあります。皆さんはいくつご存じでしょうか。「日本一」というフレーズが、誰かにふるさとを語るきっかけの一つになるかも知れません。

からくり人形の大きさ

おにゅうどう
大入道山車(県指定有形民俗文化財)

四日市の夏の風物詩、大四日市まつりに登場する身の丈約4.5メートル、首を伸ばせば約7.2メートルにもなるからくり人形です。



線路の幅

四日市あすなろう鉄道

ナローゲージといって、公共交通の電車としては、線路の幅が国内で最も狭い規格(762ミリメートル)の鉄道です。ナローゲージは、今では国内に3路線しか残っていません。

世界最新鋭のプロジェクター プラネタリウム

世界で初めて高画質な8Kプロジェクター2台を採用。光学式投映機としては世界で最も多い1億4千万個の星を投映し、約9,500個の星の色も世界で初めて再現しています。



現役最古の鉄道可動橋

きょうりょう
末広橋梁(国指定重要文化財)

四日市港の千歳運河に架かる跳開式の鉄道用の動く橋です。現役の鉄道可動橋としては国内唯一のもので、昨年「機械遺産」に認定されました。



ほかにも

自動販売機の生産台数や、単一工場でのシュークリーム生産量も日本一です。

編集後記

市場のにぎわい、特色ある地場産品の品々、そして夜景クルーズをはじめとした最近の新しい取り組み。ふるさとに誇りを持つ素晴らしい地域資源取材をして感じたことは、そこに携わる人たちの思いや情熱です。地域資源は、人によって生み出され、その伝統や技術、メッセージを未来へ受け継いでいくのも、また人であるのだと感じました。(商工課 山口・日置、観光・シティプロモーション課 渡辺、農水振興課 宮田、広報広聴課 木塚)